



2024年2月21日の国際母語の日における世界エスペラント協会からのメッセージ

国際母語の日であるこの日に、私たちは、言語の多様性と多言語教育が重要であることを広く伝えます。言語の権利は、公正で持続可能な社会の基盤となります。なぜなら、言語は、私たちの日常生活、アイデンティティ、文化遺産、コミュニティの結束の核であるからです。言語は、他のすべての人権に取り組むための基盤となります。

言語の保護と促進は非常に重要です。というのは、言語を通じて世界観が伝わり、地域の伝統的な知識や文化が保存されるからです。残念なことに、ユネスコによると、世界人口の40パーセントは、自分が話す、または理解できる言語での教育を受けることができません。同時に、ますます多くの言語が消滅しています。

ますます多元化する社会では、全人類を包含するグローバル社会という考えの前に、言語の問題が不可欠な優先事項になります。実際、言語は、理解と協力について、疑問の余地がない基盤となります。このように、言語の権利は、民主主義と、共同の問題に関する真の共同意思決定に直接関係しています。

ユネスコが提唱する多言語世界の価値観、すなわち母語での教育、あらゆるレベルでの多言語教育、そして異文化間教育を促進しましょう。このようにして、私たちは、人種、肌の色、性別、言語、宗教、政治的意見やその他の意見、国または社会的出身、財産、出生や、その他の境遇による違いがどのようなものであっても、いかなる差別もなく、平和、発展、人権が、すべての人々に対して実現することを願っています。

言語を通じて私たちは人間性を共有します。これらの原則と価値観を実現するために、国際語エスペラントを含むすべての言語を使用し発展させましょう。異なる起源を持つ人々間の連帯を祝うために、私たちはまた、2024年8月3日から10日までタンザニアのアルーシャで開催される第109回世界エスペラント大会に善意ある人々を招待します。